

研究課題名	膀胱がんに対する根治的膀胱全摘除術の治療成績に関する研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院、東京大学医科学研究所附属病院を含む計9施設
研究責任者	所属 泌尿器科 氏名 田中 良典
研究期間	(西暦) 2016年 5月 ～ 2023年 12月
研究の意義・目的	筋層浸潤性膀胱癌もしくは治療不応性筋層非浸潤性膀胱癌に対する標準治療は膀胱全摘除術である。しかし、その治療成績は5年生存率60%であり、決して満足のいくものではない。また、術後は尿路ストマの造設による生涯にわたる自己管理を余儀なくされ、合併症への対応が必須である。本手術の年間手術件数は大規模病院でもせいぜい年間20例程度であり、このような臨床的問題点を解決するためには、単一施設の限られた症例では不十分である。多施設の症例を集積して研究することで、臨床上的問題点が解決できることが期待される。
研究の方法 (対象期間含む)	各研究参加施設において1990年1月1日から2018年12月31日の間に根治的膀胱全摘除術を施行診療した膀胱癌患者で診療録並びにCT/MRIなどの画像情報が保存されている症例を対象とする。 武蔵野赤十字病院では約100症例が該当する。 診療録(カルテ情報)、CT/MRIなどの画像情報、血液データなどから、年齢・性別・合併症・既往歴・家族歴・診療時のステージ、腎尿管全摘除術施行時の手術記録、病理検査、術前術後に行われた補助化学療法の内容・コース数、術後経過観察中の局所再発・遠隔転移の有無、これらに対する治療の詳細、最終転帰、尿路ストマの合併症とそのケアなどを収集する。
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①対応表のある匿名化後の個人情報を含まない電子データとして、主任研究施設である東京大学医学部附属病院泌尿器科・男性科に提供される。電子データはパスワードロックのかかるファイル形式のデータとして、Eメール添付もしくはCD-ROM等に記録し郵送または手渡しで提供される。匿名化に際して、対応表は当院においてエクセル等を用いて作成し保管する。 ②上記研究の対象を参照 ③資料の収集・匿名化：当院泌尿器科外来・医局・病棟において当院泌尿器科医師、および秘書。 資料等の解析および保存：東京大学医学部附属病院泌尿器科・男性科医局事務室・講師室 ④【主任研究責任者】 東京大学医学部附属病院泌尿器科・男性科：講師 川井 剛人 【分担研究責任者】 武蔵野赤十字病院泌尿器科：部長 田中 良典
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 泌尿器科 氏名 田中 良典 TEL：0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX：0422-32-3525